

## 第229回鳳雛講座 令和4年7月20日（水）

7月20日（水）に第229回鳳雛講座を行いました。講師は、ニューロング秋田（株）の倉内英行さんが務めてくださいました。ニューロング秋田は1年生の企業訪問も受けて入れてくださっている会社であり、参加した生徒たちは見学以上に深い話が聞くことができたのではないかと思います。印刷・加工技術関連をはじめ、製袋・包装・シーラー・結束機械の製造・販売を行っていること、食品や化学薬品、デパートのショッピングバッグなど身近な製品に技術が使われていることなどを説明してくださいました。仕事について次のようなことも話してくださいました。

◎思い描いた仕事ではないが、現在の仕事でパフォーマンスを最大限に保つために…

「おもしろおかしくできなかつたら仕事をしている意味がない」

「会社員Aの存在ではなく、『一個人』として会社に認められる努力が大切」

◎採用面接で問われることは…

- ①コミュニケーションをとることができる人間であるか。
- ②自分の理想をイメージしているか。
- ③分からないことをそのままにしない。
- ④勉強しているか。自分に対しての投資に妥協しない。



## ニューロング秋田株式会社



### 会社概要

- ・設立 1997年（平成9年）5月 ～印刷機の専門工場として～
- ・資本金 1億円
- ・代表者 代表取締役 高橋 侑秀  
代表取締役社長 佐藤 耕次
- ・販売額 5,054百万円（2021年決算期）
- ・従業員 140名（男性117名・女性23名） 平均年齢43歳
- ・事業内容 ①紙袋を作る製袋機の製造  
②袋に印刷をする印刷機の製造  
③電解銅箔製造装置（チタンドラム・チタンアノードの製造）
- ・所在地 秋田県大館市岩瀬字羽貫谷地山下66

## ニューロング秋田としての強み

### 市場に残れる理由

現代社会（世界環境）にマッチした製品を生み出しているため。



#### 環境について

レジ袋の有料化に伴う紙袋の需要増



#### 情勢について

自動車産業におけるガソリン車からEV（電気自動車）へのシフト



#### 繋がりについて

この紙工機械であったり、電解銅箔装置の分野において、ニッチ市場という新規参入がしにくい分野であるため、横の繋がりが強く、時代に左右されにくい





